

部活動を再開する際の留意事項（抜粋版）

部活動を実施する際は、以下に示す事項について、改めて確認するとともに、部活動中における感染リスクの高い活動等の制限のみに限らず、部活動に付随する場面での対策の徹底も図りつつ、学校全体として一層の感染症対策に取り組むようお願いします。

クラスター（集団）発生のリスクが高い3つの条件

①換気の悪い密閉空間 ②多数が集まる密集場所 ③間近で会話や発声をする密接場面

- 1 これまで以上に感染及びその拡大のリスクを低減させた上で、**各学校単位で活動**する。その際、**なるべく個人での活動**とし、少人数で実施する場合は**十分に距離を確保し、できるだけ短時間で活動**する。（生徒同士は向き合わない、大声は出さない、円陣を組まない）
※ 各学校単位での活動の期間については、後日連絡する。
 - 2 活動を開始する前は、**健康観察を徹底**し、発熱等の風邪症状がある場合は、活動への参加を控え、自宅で休養するように周知徹底する。
 - 3 体育館、武道館を使用する場合は、**常に換気を行い**、他の部活動と時間差で使用するなど**複数の部活動で使用しない**などの工夫をする。
※ 当分の間、使用する人数を40名程度（小グループ、時間差利用）に制限する。
 - 4 **近距離で組み合わせ**ることが主体となる活動や**身体接触を伴う活動**、**大きな発声や激しい呼気を伴う活動などを一時的に制限**する。
 - 5 用具等については、不必要に**使いまわしをしない**とともに、**こまめに消毒**する。
（消毒場所：部室・更衣室のドアの取っ手や棚など、活動場所、使用した道具や器具）
 - 6 部室、更衣室等の共有エリアを使用する際は、**少人数で短時間**の利用とし、時間差利用、身体的距離の確保、会話をしない、マスクの着用などの制限をする。
 - 7 休憩中は、飲み物を飲みながら会話をしたり、食事を行ったりしない。水分補給をする際は、個人専用を準備し、回し飲みはせず、向かい合うことがないようにする。
 - 8 部活動終了後は、速やかに帰宅を促す。（活動着での下校を認めるなど工夫する）
- ※ 1, 3, 4については、本市の感染状況により変更があります。**